

仕様書

1 案件名称

「じぶんのこと・おやのことフォーラム大正」(映画「栄光のバックホーム」上映会)
上映用映画DVD等借入

2 借入物品等の内容

- (1) 上映用DVD (映画「栄光のバックホーム」): 1枚
 - ・通常版(DVD)で提供(Blu-rayは不可)すること
 - ・日本語字幕に対応すること
 - ・2025年に上映された作品と同内容であること
 - ・別紙1実施要領による上映について、著作権者から許諾を得た物であること
- (2) 上映会に関する広報ポスター及びリーフレットに使用する画像: 1～3カット
 - ・作品に付随する肖像権等の使用許可を得た画像データ(ロゴ含む)を提供すること
 - ・画像データはJPEG形式で提供すること

3 履行期間

契約締結後から令和8年12月1日まで

※上映用DVDの借入期間は、令和8年11月25日から令和8年12月1日まで

4 納入場所

大正区役所保健福祉課(健康づくり)3階30番窓口

5 返却方法

12月1日(火)までに本市より郵送等で発送する。

※返却に関する費用(送料等)を見積金額に含めること

6 経費

- (1) 業務遂行に必要な経費(映画使用料やDVDの納品及び返却にかかる送料含む)は全て契約金額に含まれることとする。
- (2) 使用料は、受注者からの請求に基づき支払うこととする。

7 留意事項

本事業の実施にあたっては、以下の項目に十分留意すること。

- (1) 本仕様書に定めのない事項及び疑義がある場合は、発注者と受注者において必要に応じて適宜協議して定めるものとする。ただし、軽微なものについては発注者の指示に従うものとする。
- (2) 本業務の遂行にあたっては、発注者と連絡調整を密に行い、円滑に業務を遂行すること。

- (3) 守秘義務として、本業務にあたり業務上知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。契約期間満了後及び契約解除後においても同様とする。
- (4) 本事業で知り得た個人情報、法人情報については、受注者の責任において厳重に管理するとともに、他目的使用は絶対に行わないこと。
- (5) 万一、個人情報、法人情報について情報が漏えいした場合は、速やかに発注者へ報告すること。
- (6) 公正な職務の執行の確保に関する条例（平成 18 年大阪市条例第 16 号）を順守すること。
- (7) 大阪市暴力団排除条例（平成 23 年大阪市条例第 10 号）を順守すること。
- (8) グリーン配送に係る特記仕様書を遵守すること。
- (9) 生成 AI 利用に関する特記仕様書を遵守すること。
- (10) その他、業務遂行上必要な関係法令を遵守すること。

8 担当

大阪市大正区役所 保健福祉課（健康づくり）

百瀬、河合、中尾

電話 06 - 4394 - 9882

「じぶんのこと・おやのことフォーラム大正」(映画「栄光のバックホーム」上映会)実施要領
(大正区在宅医療・介護連携推進事業 啓発事業)

1 日 時

令和8年11月28日(土) 開会時間 13:30～

2 上映場所

藤井組 大正区民ホール(大正区役所4階)

※別紙2参照

3 内 容

映画「栄光のバックホーム」の上映

4 定 員

定員250名

5 費 用

無料

6 申込み方法・期間(申込み多数の場合は抽選)

映画鑑賞を希望される方に、往復はがき又はインターネットで申し込みいただく。

(1) 往復はがき

必要事項を明記の上、11月12日(木)までに下記申込み先に届くように投函。

往信はがき【必要事項】

- ① 名前(申込者)
- ② 住所
- ③ 連絡先(電話番号)
- ④ 希望人数(2人まで)

返信はがき【必要事項】

- ① 名前(申込者)
- ② 住所・郵便番号

【申込み先】

〒551-8501 大阪市大正区千島2丁目7番95号

大正区役所保健福祉課 上映会担当

(2) インターネット(行政オンラインシステム)

10月26日（月）9時から11月12日（木）17時30分までに、専用サイトにアクセスして申し込む。

7 注意事項

- ・ 申込み多数の場合は抽選。
- ・ 11月20日（金）頃までにご案内又は落選のお知らせを、はがき又はメールで送る。
- ・ 台風接近時等、次の場合は中止。

午前10時時点で大阪管内気象台が大阪市内に「各種危険警報および特別警報」又は「暴風警報」を発表している場合

午前10時時点で大阪市が警戒レベル3以上の避難情報を発表している場合

8 主催

大正区役所、大正区在宅医療・介護連携推進実務者会議

9 共催

大阪市大正区医師会、大正区歯科医師会、大正区薬剤師会、大正区在宅医療・介護連携相談支援室、大正区地域包括支援センター、大正区北部地域包括支援センター、大正東ブランチ、大正西ブランチ、大阪府訪問看護ステーション協会大正支部、大阪介護支援専門員協会大正支部、大正区居宅介護支援事業者連絡会、大正区介護連絡会

※ 具体的な役割分担（展示・広報含む）については、在宅医療・介護連携推進実務者会議で検討する。

区民ホール(4階)

舞 台

○機器操作

プロジェクタ

●マイク(スタンド)

□演台(大) PC

○○○○イス4

●マイク(スタンド)

副区長3師会会長

席数

○	○	1	○	○	○	○	1	○	7
○	○	2	○	○	○	○	2	○	9
○	○	3	○	○	○	○	3	○	9
○	○	4	○	○	○	○	4	○	11
○	○	5	○	○	○	○	5	○	11
○	○	6	○	○	○	○	6	○	11
○	○	7	○	○	○	○	7	○	11
○	○	8	○	○	○	○	8	○	11
○	○	9	○	○	○	○	9	○	11
○	○	10	○	○	○	○	10	○	11
○	○	11	○	○	○	○	11	○	11
○	○	12	○	○	○	○	12	○	11
○	○	13	○	○	○	○	13	○	11
○	○	14	○	○	○	○	14	○	11
○	○	15	○	○	○	○	15	○	11
○	○	16	○	○	○	○	16	○	11
○	○	17	○	○	○	○	17	○	11
○	○	18	○	○	○	○	18	○	11
○	○	19	○	○	○	○	19	○	11
○	○	20	○	○	○	○	20	○	11
○	○	21	○	○	○	○	21	○	11
○	○	22	○	○	○	○	22	○	11
○	○	23	○	○	○	○	23	○	11
○	○	24	○	○	○	○	24	○	11
1	2	3	4	5	6	7	8	9	256
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28

かご 机1

机1 かご

出入口

イス予備10(スタッフ用含む)

出口

イス4
机2

受付

アンケート配付

来場者導線

WC

EV

EV

来場者待合
イス 10

401会議室

○貴志課長

3師会・副区長 控室

暴力団等の排除に関する特記仕様書

1 暴力団等の排除について

- (1) 受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）は、大阪市暴力団排除条例（平成 23 年大阪市条例第 10 号。以下「条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第 3 号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (2) 受注者は、条例第 7 条各号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。
また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。
- (3) 受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第 9 条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る本市監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。
また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。
- (4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく本市に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第 12 条に基づく公表及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。
- (5) 受注者は第 3 号に定める報告及び届出により、本市が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (6) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

グリーン配送に係る特記仕様書

- 1 本契約に基づき物品等を大阪市に納入する際には、車種規制非適合車以外の自動車である、大阪市グリーン配送適合車（以下「グリーン配送適合車」という。）を使用しなければならない。

注 「車種規制非適合車」とは「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車 NO_x・PM 法）」に定める窒素酸化物排出基準又は粒子状物質排出基準に適合しない自動車である。

なお、物品配送業務を他人に委託するときは、受託人の使用する自動車についてグリーン配送適合車の使用を求めること。

- 2 本契約締結後速やかに、本市が別途定める様式により、物品配送業務に使用する自動車がグリーン配送適合車である旨の届出を環境局環境管理部環境規制課あて行うこと。
ただし、既に本市に届出済みの自動車を使用する場合又は次の各号に定める自動車を使用する場合はこの限りではない。
 - (1) 大阪府グリーン配送実施要綱に基づく大阪府グリーン配送適合車
 - (2) 神戸市グリーン配送ガイドラインに基づく神戸市グリーン配送適合車
- 3 本市に届出済みのグリーン配送適合車に、グリーン配送適合ステッカーを貼付すること。
- 4 物品等を納入した際に、本市職員が確認のため「グリーン配送適合車届出済証」等の提示を求めた場合には、協力すること。

大阪市グリーン配送に関する問合せ

大阪市環境局環境管理部環境規制課
自動車交通環境対策グループ
電 話：06-6615-7965

公正な職務の執行の確保に関する特記仕様書

（条例の遵守）

第1条 受注者および受注者の役職員は、本契約に係る業務（以下「当該業務」という。）の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」（平成18年大阪市条例第16号）（以下「条例」という。）第5条に規定する責務を果たさなければならない。

（公益通報等の報告）

第2条 受注者は、当該業務について、条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたときは、速やかに、公益通報の内容を発注者（大正区役所総務課（庶務））へ報告しなければならない。

2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者（大正区役所総務課（庶務））へ報告しなければならない。

（調査の協力）

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

（公益通報に係る情報の取扱い）

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

（発注者の解除権）

第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

不適正な契約事案の再発防止対策における特記仕様書

発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者の大正区役所総務課（庶務）（連絡先：06-4394-9625）に報告しなければならない。

生成 AI 利用に関する特記仕様書

受注者又は指定管理者（再委託及び再々委託等の相手方並びに下請負人を含む）が生成 AI を利用する場合は、事前に発注者あて所定様式により確認依頼をし、確認を受けるとともに、「大阪市生成 AI 利用ガイドライン（別冊 業務受託事業者等向け生成 AI 利用ガイドライン第 1.1 版）」に定められた以下の利用規定を遵守すること。

生成 AI の利用規定

- 生成 AI を利用する場合は、利用業務の内容、利用者の範囲、情報セキュリティ体制等及び利用規定の遵守・誓約内容を事前に所定様式※により発注者宛に確認依頼をし、確認を受けること。
※ 所定様式は大阪市ホームページからダウンロードできます
<https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html>
- 前記確認内容に変更等が生じた際には変更の確認依頼をし、確認を受けること。
- 生成 AI は、受注者又は指定管理者の業務支援目的に限定し、市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと。
- 画像及び動画の生成 AI サービスを利用する場合は、利用者が生成物を利用する際に他者の著作権を侵害しないよう選別したコンテンツで AI モデルの学習をしているサービスを利用することを原則とする。ただし、当該要件に該当しないサービス又は該当するか不明のサービスを利用する場合は、生成内容が既存著作物との類似性や無許諾での依拠がないことを確認し、かつ、成果物として利用する際は発注者の同意を得ること。
- インターネット上の公開された環境で不特定多数の利用者に提供される定型約款・規約への同意のみで利用可能な生成 AI の利用を禁止する。
- 生成 AI 機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成 AI による回答を得る目的での利用を禁止する。
- 生成 AI を利用する場合は、入力情報を学習しない設定（オプトアウト）をして利用すること。
- 契約又は協定の履行に関して知り得た秘密及び個人情報の入力を禁止する。
- 著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利を侵害する内容の生成につながる入力及びそのおそれがある入力を禁止する。
- 生成・出力内容は、誤り、偏りや差別的表現等がないか、正確性や根拠・事実関係を必ず自ら確認すること。
- 生成・出力内容は、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の侵害がないか必ず自ら確認すること。
- 生成・出力された文章は、あくまで検討素材であり、その利用においては、受注者又は指定管理者が責任をもって判断するものであることを踏まえ、加筆・修正のうえで使用すること。
- 生成・出力内容は、上記に定める正確性の確認等を経たうえで、加筆・修正を加えずに利用（公表等）する場合は、生成 AI を利用して作成した旨を明らかにして意思決定のうえで利用すること。
- 情報セキュリティ管理体制により、利用者の範囲及び利用ログの管理などにより情報セキュリティの確保を徹底して適切に運用すること。